

## 平成21年3月議会 一般質問

### 1、 役場における障害者就労について

- ① 斑鳩町役場の障害者雇用率はいくらですか。
- ② 障害者別枠制度を実施しているのか。
- ③ 将来の障害者就労機会の拡大は考えているのか。

### 2、 町内の健康ウォーキングについて

- ① 健康のために、歩いておられる方が大勢おられるが、誰もが楽しく安全に歩けるように健康ウォーキングについて、生き生きプラザ斑鳩にて相談が可能なのか。
- ② 歩こう会などを催しておられるが、健康推進の町として、生き生き斑鳩を拠点とした健康ウォーキングについてないか発信できないか。
- ③ 町の広報でも健康ウォーキングについてのテーマを掲載できないか。

最初に、役場における障害者就労について質問します。

現在、世界的金融危機と言われており、健常者の雇用問題がよく取りざたされておりますが、私が気になっているのは、より厳しくなっていると想像できる障害者の就労について伺います。

平成20年度における障害者雇用率及び斑鳩町役場の法定雇用率は幾らですか。

(総務部長) 平成20年度の斑鳩町役場の障害者の実雇用率は、2.84%でございます。法定雇用率は2.1%であり、法定雇用率を達成している状況であります。

今の答えから、斑鳩町役場は障害者の方の法定雇用率2.1%を超える2.84%であると聞き、一応安心しました。

それでは、障害のある方に対して、一般の採用試験と区別して障害者別枠採用制度を実施しておられますのかを伺います。

(総務部長) 斑鳩町では、正規職員の採用において、別枠で障害者を対象にした採用試験は実施いたしておりませんが、従来から身体に障害を持つ人々についても、一定の選考の中で、障害の程度、あるいは職種を見ながら、すべて平等に決定することとしてきました。

障害者別枠採用制度は実施されていないとの答えでしたが、思うに、障害をお持ちの方

が、仕事についてその能力を発揮することのように、社会活動に参加し、生きがいを見出すことは、重要なはずで。

しかし、障害者を取り巻く環境は厳しく、多くの障害者が働く機会を待っている状況にあります。

そういった中で、将来の役場における障害者それぞれの適正と能力に応じた障害者別枠制度などの就労機会の拡大は、考えておられますか。また、障害者を採用するに当たっては、ソフト面及びハード面でどのような対策を講ずるべきであると考えているのか。

(総務部長) 多くの障害者の方々が働く場を求めておられる状況の中で、障害者自立支援法が施行されたにより、今まで以上に障害者の社会参加を進めようとする動きが活発になってきており、事業主である町として必要な処置といたしましては、まずハード面では、障害者に働いてもらうに当たって、例えば職場のレイアウトの変更等の施設の改善、勤務するに当たって職場環境等の整備、出来るだけ働きやすい環境づくりに努めていく必要があると考えます。

また、ソフト面では、障害者の方の雇用に当たって、障害を持つ職員が職場に溶け込めるか等の不安や、知的障害者の場合に仕事をどのように教えたらよいか等の問題にどのように対応していけばよいか等を検討していかなければならないと考えております。

今後、障害者の雇用については、法定雇用率を維持する中においては、別枠で採用試験を行なうなど、障害者の雇用の拡大も検討していくことも必要であると考えております。

今後とも、民間活動の見本となるような行政運営を行なってほしいと要望いたしまして、次の質問に移ります。

町内の健康ウォーキングについて質問します。

昨今、斑鳩町内にて、健康のために歩いておられる方が大勢おられますが、誰もが楽しく安全に歩けるように、健康ウォーキングについて、生き生きプラザ斑鳩で相談にのってもらえるのですか。

(住民生活部長) 保険センターにおきましては、生活習慣病予防のために、誰もが気軽にこなせる運動としまして、ウォーキングを推進し、運動習慣の定着に向けた指導を行なっております。

また、保険センターでは、健康情報や健康管理の場所として多くの方々にご利用いただくために、生き生きプラザ斑鳩に立ち寄っていただきたいとも考えておるところでございます。

歩いている途中に気軽に立ち寄り、ウォーキング方法などの相談が生き生きプラザ斑鳩にてやっていただけるとのことですね。ウォーキングの休憩場所としても利用者が増える

ように広報も力をいれるべきです。

次に、町では、歩こう会などを催しておられますが、健康推進の町として、生き生きプラザ斑鳩を拠点とした健康ウォーキングについて発信することができないか、伺う。

(住民生活部長) 保険センターでは、地域に根差した住民ボランティアの皆様が保険事業に協働することで、より安全なコースを安心して歩けるように、また、観光ボランティアの皆さんによる名所案内で楽しく参加できるための環境づくりを積極的に行なっております。

今後も、引き続き運動教室の回数を増やすなど、さらに内容の充実を図り、1人でも多くの皆さんにご参加していただけますように、多くの情報提供にも努めてまいりたいと考えております。

これだけ、多くの皆さんが歩いておられるのだから、もっと町の広報やいろいろな啓発ビラ等で、健康ウォーキングについて取り上げていただきたいのですが、町の対応を伺う。

(住民生活部長) 広報いかるが平成20年9月号において、「ウォーキングで内臓脂肪を減らそう」というテーマで、ウォーキングの効果や、今より1000歩歩くための工夫等の特集を掲載し、住民の皆様幅広く情報を発信したところであります。

今後も、健康づくりの拠点であります生き生きプラザ斑鳩におきまして、引き続き住民の皆様が健康づくりに役立てていけるよう、健康情報のパンフレットやウォーキングマップなどを整備し、情報の提供に努めてまいりたいと考えております。

斑鳩は、文化にふれながら楽しく安心して歩けるまちと誰もが誇れるように、なお一層健康推進のまち斑鳩を推し進めていってくださいとお願いいたしまして、私の一般質問を終わらせていただきます。